

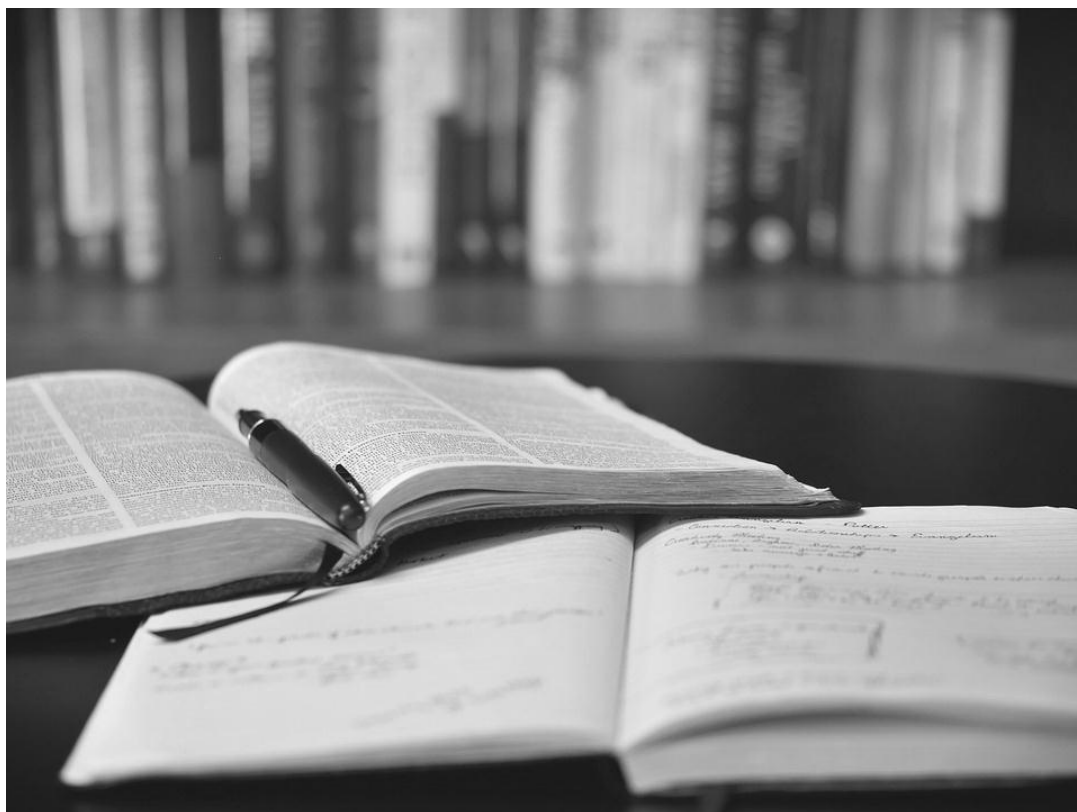
第 27 回 全道学術研修大会  
第 1 回 道東支部学術研修大会

大会誌

**会期**：2019 年 9 月 21 日（土）

**会場**：北見芸術文化ホール 中ホール

**主催**：公益社団法人 北海道理学療法士会 道東支部



# 開催趣意書

## テーマ 高齢者における理学療法のさらなる飛躍に向けて

会員の皆様におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より支部活動にあたりご協力を頂き心より御礼申し上げます。この度、第27回全道学術研修大会・第1回道東理学療法学術研修大会を開催することになりました。道東地域は、その特性上、広大な土地であること、一人職場も多く、多領域に渡る理学療法の展開が必要になることが特徴です。そこで、大会テーマを「高齢者における理学療法のさらなる飛躍に向けて」としました。2016年12月16日に「脳卒中と循環器病克服5カ年計画」が策定され、高齢者にとって脳卒中と循環器疾患は切り離せない問題です。その戦略として、人材育成、医療体制の充実、登録事業の促進、予防・国民への啓発、臨床・基礎研究の強化があげられております。その事を踏まえ、基調講演に阿部浩明先生、特別講演に山本周平先生をお招きし講演の機会としました。

また、道東支部企画セミナーとして「人材育成について考える -新人教育はうまくいっていますか?-」を考えております。医師・看護領域においては育成ラダーが決まっておりますが、理学療法領域に関しては十分に整備されていないのが現状です。新人教育をテーマに、pro-con形式で進め、フロアが参加しやすい形を考えております。この企画で重要な点は、教育全般の見直しです。新人教育に限ったことではなく、医療者が行う、運動や生活等における患者教育においても教育は大切です。変わるのは新人や患者様ではなく、我々教育する側であることを今一度考え、共に成長する機会として考えております。支部学会と研修大会の相乗効果により有意義な時間になると考えております。

道東支部役員一同、皆様からの多くの参加をお待ちしております。

第27回全道学術研修大会・第1回道東支部学術研修大会  
大会長 大森達也

## 大会組織



- ・大会長           ： 大森 達也(Physit 代表取締役)
  
- ・準備委員長     ： 庄司 寛(北海道立北見病院)
  
- ・総務部長        ： 宮嶋 徳宜(オホーツク海病院)
  
- ・運営部長        ： 森 博子(北見赤十字病院)
  
- ・渉外部長        ： 中浜 聡(道東の森総合病院)
  
- ・情報管理部長    ： 鈴木 謙吾(北海道立北見病院)
  
- ・財務部長        ： 大段 裕樹(北見赤十字病院)

# 大会スケジュール






中ホール	
第 1 部	
10:00～	受付開始
10:30～12:00	市民公開講座 「だれでも始められる運動・活動について」 講師:深川 友貴 氏(深友企画) 座長:大森 達也 氏(Physit 代表取締役)
第 2 部	
12:20～	受付開始
12:50～	開会式
13:00～14:30	基調講演 「脳卒中患者の理学療法における脳画像を用いた臨床推論と歩行再建を目指したアプローチ」 講師:阿部 浩明 氏(広南病院) 座長:宮嶋 徳宜 氏(オホーツク海病院)
14:40～16:10	特別講演 「重複障害時代における理学療法の実践、サルコペニア・フレイルに対する理学療法について」 講師:山本 周平 氏(信州大学医学部附属病院) 座長:森 博子 氏(北見赤十字病院)
16:20～17:10	道東支部企画セミナー 「人材育成について考える。－新人教育はうまくいっていますか?－」 演者 4 名(9 分×4) pros & cons 演者(pros):大段 裕樹 氏(北見赤十字病院) 宮嶋 徳宜 氏(オホーツク海病院) 演者(cons):鈴木 謙吾 氏(北海道立北見病院) 中浜 聡 氏(道東の森総合病院) 座長:庄司 寛 氏(北海道立北見病院)
17:20～19:10	合同シンポジウム 「高齢者における理学療法の飛躍について－各専門分野から－」 講師:神経系 平塚 健太 氏(大川原脳神経外科病院) 運動器 千葉 恒 氏(介護老人保健施設ふらの) 内部 森野 陽 氏(北海道千歳リハビリテーション大学) 座長:大段 裕樹 氏(北見赤十字病院) 中浜 聡 氏(道東の森総合病院) 各 30 分 + 総合討論
19:10～	閉会式
20:00～	レセプション(場所:オホーツクビアファクトリー)

# アクセス

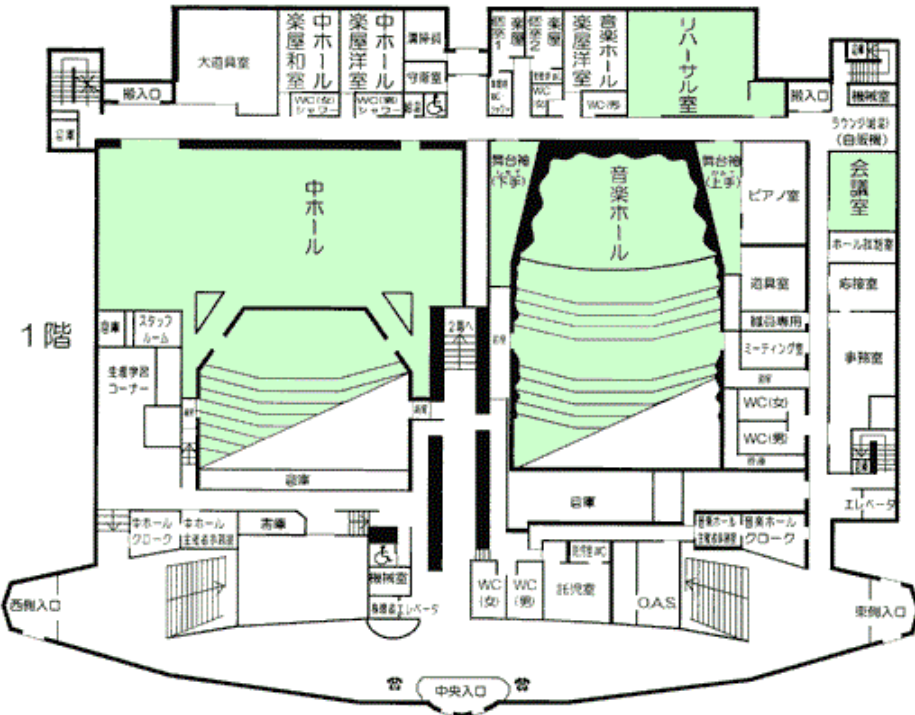
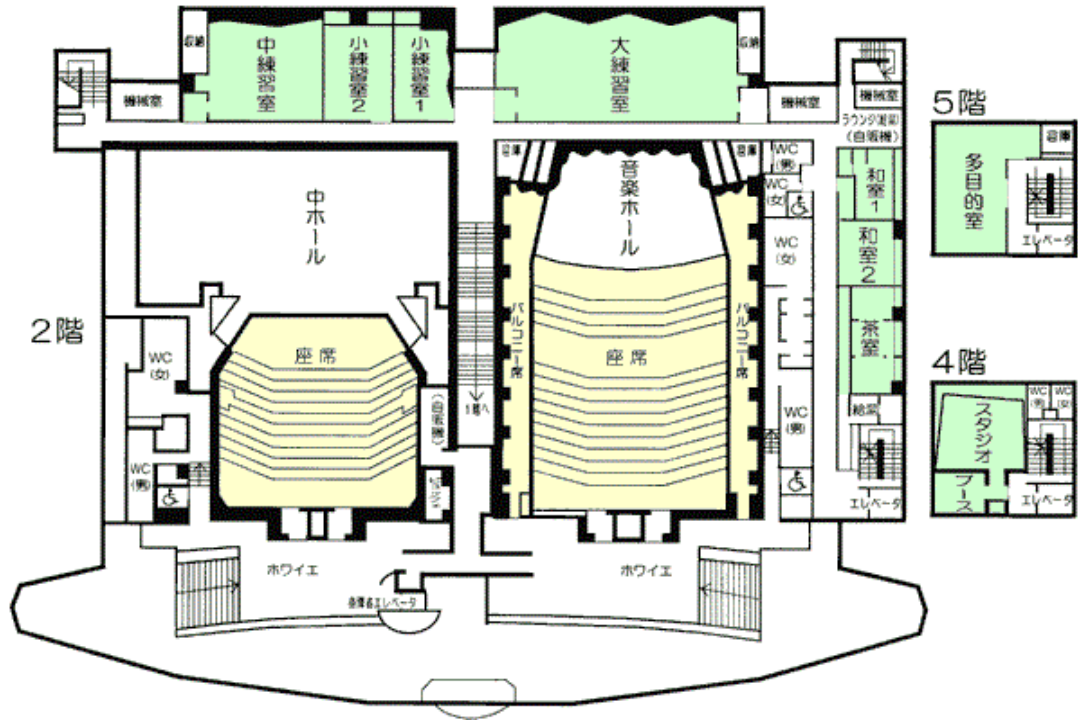
## 北見芸術文化ホール(きた・アート 21)

〒090-0811 北海道北見市泉町 1 丁目 3-22



 JR 利用の場合	石北本線北見駅下車→徒歩 3 分
 飛行機利用の場合	女満別空港からバス(女満別空港線)→北見バスターミナル下車(所要 42 分)→徒歩 4 分
 都市間バス利用の場合	札幌・旭川・釧路から直通バス→北見バスターミナル下車→徒歩 4 分
 バス(市内線)利用の場合	バス停「大通」下車→徒歩 4 分
 バス(郊外線)利用の場合	北見バスターミナル(終点)→徒歩 4 分

# 会場内図面



階	各部	名	広さ
1	リハールサル室		105㎡
2	大練習室		206㎡
2	中練習室		100㎡
2	小練習室1		50㎡
2	小練習室2		58㎡
2	和室1		10畳
2	和室2		18畳
2	茶室		8畳・6畳
4	スタジオ・ブース		54㎡
5	多目的室		71㎡
1	会議室		39㎡
1	(音)楽室洋室		41㎡
1	(器)楽室洋室1		27㎡
1	(器)楽室洋室2		17㎡
1	(中)楽室洋室		42㎡
1	(中)楽室洋室		21畳

# 参加者の皆様へ

## ◆ 参加費について

区分	参加費	
	事前登録	当日
会員	5000 円	6000 円
非会員	8000 円	10000 円

## ◆ 事前参加登録

本学術研修大会では、当日受付業務の円滑化、並びに当日の現金管理を極力控えるため、事前参加登録方式を採用しておりますので、ご協力をお願いします。

会員の方は、(公社)日本理学療法士協会 HP 内のマイページより参加登録をお願いします。

非会員の方は、北海道理学療法士会 HP 内の講習会・研修会より申込みをお願いします。

事前参加登録後の返金はいかなる場合においても対応できませんので、ご了承ください。

## ◆ お車の利用について

北見芸術文化ホールの駐車場を利用することが可能です。台数が限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

## ◆ 抄録集について

抄録集については、当日の配布をしないため、各自でPDF をダウンロードしてご利用下さい。

## ◆ レセプションのご案内

日時:9月21日(土) 20:00~

会場:オホーツクピアファクトリー(北見市山下町 2 丁目 2-2)

参加費:4000円



◆ その他

① ネームカードの携帯について

※受付時にネームカードとホルダーをお渡しします。ネームカードに必要事項をご記入の上、必ずネームカードの入ったホルダーを首から下げ、確認できるようにしてください。ネームカードの確認ができない方は会場への入場をお断りします。

② カメラ・ビデオ撮影・録音について

撮影許可証を持たない方のカメラ・ビデオ撮影(カメラ付き携帯電話を含む)・録音などは、講演者や発表者の著作権保護や対象者のプライバシー保護のために禁止させていただきます。万が一、撮影・録音をしている方を見かけましたらデータの削除をさせていただきます。また、撮影・録音をしている方を見かけましたら近くのスタッフまでお声掛けください。

③ 携帯電話の使用について

会場内では必ず電源を切るかマナーモードに設定してください。また、プログラム中の通話は禁止させていただきます。

④ 喫煙について

喫煙マナーを守り、所定の喫煙場所をお願いいたします。





## 「脳卒中患者の理学療法における脳画像を用いた臨床推論と 歩行再建を目指したアプローチ」

阿部 浩明 氏(広南病院)

### [現職]

一般財団法人広南会広南病院リハビリテーション科 総括主任

### [職歴]

平成9年4月 KKR 宮城野病院(現 KKR 東北公済病院)勤務

平成15年4月 東北文化学園大学医療福祉学部 勤務

平成17年4月 広南病院リハビリテーション科 勤務(現在に至る)

平成22年4月 仙台保健福祉専門学校 非常勤講師

平成24年4月 東北大学大学院医学系研究科 非常勤講師

平成26年4月 東北保健医療専門学校 非常勤講師

平成27年4月 郡山健康科学専門学校 非常勤講師

平成29年4月 新潟医療福祉大学 非常勤講師

### [最終学歴]

平成24年3月 東北大学大学院医学系研究科卒(医学博士)

### [資格]

平成22年 神経系専門理学療法士

平成25年 認定理学療法士(脳卒中)

### [受賞歴]

第43回日本理学療法学会 大会長賞

第18回意識障害学会 会長賞

第33回東北脳血管障害研究会 医学奨励賞(中村隆賞)

第48回日本理学療法学会 最優秀賞

### [著書]

高次脳機能障害に対する理学療法(文光堂)

歩行再建を目指す下肢装具を用いた理学療法(文光堂)

脳卒中片麻痺者に対する歩行リハビリテーション(メジカルビュー)

標準理学療法学神経理学療法学第2版(医学書院) など

### [社会活動]

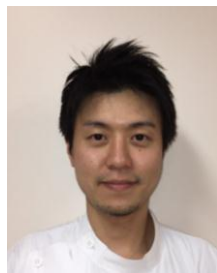
学術誌「理学療法学」「Physical Therapy Research」編集委員

学術誌「Journal of Rehabilitation Neurosciences」(Associate member of editorial board)

学術誌「理学療法の歩み」査読委員

日本神経理学療法学会運営幹事 など

脳卒中は脳に生じた疾病であり、脳が実に多様な機能を持つ組織であることから多様な障害を呈する。理学療法士が関わることの多い片麻痺などの機能障害は上肢や下肢に生じるが、その上肢や下肢に直接的な損傷があるのではなく、脳に損傷があつて様々な機能障害が生じていることになる。そのため、脳の損傷領域と非損傷領域を十分に把握せずして理学療法を行うことは、実際に問題となっている現象の出現メカニズムを正確に把握することを困難にし、長期的な予後の予測を困難とさせてしまうことになる。この基調講演では損傷した脳そのものを評価対象として臨床推論を進め、また、歩行の再建を目指した際に、その情報をどのように活用して、どうアプローチしていくかについて、複数の事例を紹介し、演者の脳卒中理学療法についての考え方を提示したい。



## 「重複障害時代における理学療法の実践、 サルコペニア・フレイルに対する理学療法について」

山本 周平 氏(信州大学医学部附属病院)

### 〔学歴・研究歴〕

2007年3月北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科 卒業  
2009年3月北里大学大学院医療系研究科修士課程 修了  
2013年3月北里大学大学院医療系研究科博士課程(医学)修了  
2013年4月北里大学大学院医療系研究科 研究員  
2015年4月国立研究開発法人国立成育医療研究センター政策科  
研究部 共同研究員

### 〔職歴〕

2007年4月～ 北里大学病院リハビリテーション部  
2013年4月～ 聖マリアナ医科大学病院リハビリテーション部  
2015年4月～ 信州大学医学部附属病院リハビリテーション部

### 〔資格〕

理学療法士、医学博士、心臓リハビリテーション指導士、認定(循環)  
理学療法士

### 〔編集委員〕

Physical Medicine and Rehabilitation Research

### 〔受賞歴〕

第30回日本私立医科大学理学療法学会最優秀賞受賞  
第51回日本理学療法学会大会奨励賞受賞  
第30回理学療法ジャーナル賞奨励賞

### 〔現役職〕

1.心大血管管理理学療法学会総務部会議員  
2.理学療法ガイドライン第2版 CQ作成グループ(糖尿病)  
3.理学療法ガイドライン第2版 システマティックレビューチーム(心大血管)

### 〔著書〕

1)循環器理学療法の理論と技術, 増田卓, 松永篤彦(編), メディカルビュー社, 2009  
2)心臓リハビリテーション実践マニュアル 評価・処方・患者指導 初版(循環器臨床サピア4). 長山雅俊(編), 中山書店, 2010  
3)高齢者の理学療法 第2版(理学療法MOOK 10). 森本 榮(編), 三輪書店, 2011  
4)心臓リハビリテーション実践マニュアル 評価・処方・患者指導 第二版(循環器臨床サピア4). 長山雅俊(編), 中山書店, 2015  
5)運動療法エビデンスレビュー, 松永篤彦, 神谷健太郎(編), 文光堂, 2018  
6)必携 在宅 VAD 管理, 日本人工臓器学会(監修), はる書房(in press)

急性期や維持期に関わらず、患者情報を収集する際に「既往歴:慢性心不全」という記載に遭遇するケースは多いのではないだろうか。Rotterdam Studyに代表されるように、高齢化によって内部障害の合併率は上昇するため、内部障害は common disease として考えなければならない。今回のテーマにあるように、対象患者の高齢化で問題となるのが重複障害であり、重複障害で共通の問題となるがサルコペニアやフレイルの問題である。内部障害の特徴として、身体的フレイルの合併率は高く、心不全症例だと49%がフレイルを合併し、さらに慢性腎臓病では2.5～5.9倍フレイルを合併し易いと報告されている。高齢患者を対象とする場合、フレイルは重要な治療ターゲットである。しかしながら、高齢患者がフレイルであったとして、どのように治療プログラムを構成すれば良いのだろうか。フレイルと栄養状態が重要な関係にあるのは周知の事実だが、我々セラピストは栄養補助食品を提供出来ない。また、認知機能が低下した症例も多いが、多くの臨床研究は認知機能低下は対象から除外されており、身体機能評価が臨床的意味を持っているか分からない。本講演では、上記のような問題に対して自験データも交えて当院で実践しているフレイル評価の実際と、フレイルと評価した場合の運動療法の組み立て方についてご紹介する予定である。

「人材育成について考える。

—新人教育はうまくいっていますか？—

pros: 失敗を経験させる

cons: 失敗を経験させない

宮嶋 徳宜 氏（オホーツク海病院）

鈴木 謙吾 氏（北海道立北見病院）

大段 裕樹 氏（北見赤十字病院）

中浜 聡 氏（道東の森総合病院）

医師・看護領域においては、育成教育ラダーが決まっていますが、理学療法領域に関しては進んでいるとは言えません。そこで、本セミナーは、4人の演者がprosとconsの立場に立って進めていく、pros & cons形式のセミナーを企画しました。このセミナーで重要な点は、教育全般の見直しです。教育は、新人教育に限ったことではなく、我々が日常臨床において、運動や生活指導等を行うことと同様であります。変わるの新人や患者様ではなく、我々教育する立場に立つ者であることを今一度考える機会にしたいと思えます。



## 「高齢者における理学療法の飛躍について—各専門分野から—」

### 神経系

平塚 健太 氏(大川原脳神経外科病院)

#### [現職]

医療法人社団 医修会 大川原脳神経外科病院  
リハビリテーション部 主任 理学療法士

#### [職歴]

2010 年:医療法人社団 医修会 大川原脳神経外科病院  
入職

#### [資格]

2015 年:認定理学療法士(脳卒中)取得  
2019 年:修士号(リハビリテーション科学)取得

歩行能力の低下は、自宅復帰率の低下・生活範囲の制限・社会復帰の可否・QOL の低下・介助量の増大・死亡率の増加に関連することが報告されている。そのことから、歩行能力の改善や歩行獲得は脳卒中後リハビリテーションの主要なゴールの 1 つであるといえる。

また、歩行自立に関連する因子として従来より年齢が強く影響するといわれている。近年、高齢化が進み、歩行能力の改善に向けて歩行自立予測因子である年齢をどのように補填していくかが重要と考えている。歩行能力の改善には脳卒中治療ガイドライン 2015 において、歩行量を多くすることが推奨されている。現在では様々なデバイスを用いて歩行練習が行われている。このようなデバイスを活用していくことが高齢者においても歩行量を担保する 1 つの手がかりとなる可能性がある。

そのような背景を踏まえ、年齢以外の歩行自立予測因子や当院での介入や取り組みなどを中心に御紹介する。

## 「高齢者における理学療法の飛躍についてー各専門分野からー」



### 運動器

千葉 恒 氏(介護老人保健施設ふらの)

#### [学歴および職歴]

平成 13 年 3 月 弘前大学 医療技術短期大学部 理学療法学科  
卒業

同年 4 月より、東北の小児施設に勤務

平成 15 年 4 月より、富良野協会病院に勤務

平成 29 年 10 月より、現職である、介護老人保健施設ふらのに勤務  
現在に至る。

#### [北海道理学療法士会の仕事]

平成 25 年 4 月から平成 27 年 3 月まで道北支部 学術教育部 部長  
平成 27 年 4 月から現在まで、道北支部 副支部長

平成 26 年 6 月から平成 31 年 4 月まで、北海道理学療法士会 道北  
支部 代議員

#### [社会活動ならびに授賞]

平成 23 年 11 月 地域理学療法貢献賞 授賞

平成 26 年 4 月 北海道理学療法士会 第 23 回全道学術研修大会  
シンポジスト

平成 27 年 10 月第 66 回北海道理学療法士学術大会 準備委員長

平成 29 年 8 月ジャーナル・オブ・スパイン・リサーチ ベストペーパー賞  
授賞

平成 29 年 9 月 第 5 回日本運動器理学療法学術集会 シンポジスト

平成 30 年 3 月 第 2 回道北理学療法士学術大会 大会長

平成 30 年 9 月 福田賞 授賞

#### 今後の予定

令和 1 年 9 月 第 5 回北海道千歳リハビリテーション科学学会 講師

令和 1 年 11 月 第 1 回道南理学療法学術研修大会 講師

令和 2 年 7 月 第 71 回北海道理学療法士学術大会 大会長

私の勤務地である富良野市の高齢化率は 32.8% (2019 年 5 月末現在)に達しており、理学療法の対象も高齢者が多い。臨床現場における運動器疾患患者の多くは、理学療法について身体機能に対する訓練というイメージを抱く傾向が強いように感じる。特に患者が高齢者の場合、障害予防を含めた患者教育、在宅生活を想定した福祉用具や住宅改修に関する情報提供、介護保険などの関連諸制度など、身体機能面以外の役割については、患者サイドも治療者サイドも必ずしも認識が十分であるとは言えない。特に高齢者の運動器疾患に関わる理学療法士は、患者およびその家族と意思疎通を十分に図り、身体機能面以外の潜在的なニーズも見出し、そのニーズへの対応策を考え、より良いケアにつなげていくことが理学療法のさらなる飛躍につながっていくのではないのでしょうか。

今回のシンポジウムでは、これまで実践してきた高齢者の運動器障害に対する理学療法について述べると共に、私がこれまで取り組んできた高齢者の脊柱変形に関する研究についてもご紹介させて頂きたいと思っております。



## 「高齢者における理学療法の飛躍について—各専門分野から—」

### 内部

森野 陽 氏(北海道千歳リハビリテーション大学)

#### [学歴]

1996年3月 名古屋市立向陽高等学校 卒業  
2000年3月 札幌医科大学保健医療学部理学療法学科卒業  
(4期生)  
2011年4月 札幌医科大学大学院医学研究科医科学専攻修士  
課程 リハビリテーション学 入学  
2013年3月 札幌医科大学大学院医学研究科医科学専攻修士  
課程 リハビリテーション学 卒業  
修士(医科学) (札幌医科大学大学院 医学研究科 第31号)  
修士論文「特発性肺線維症患者における身体活動量」

#### [職歴]

2000年4月 国立病院機構東名古屋病院(旧、国立療養所東名古屋  
病院) リハビリテーション科  
2011年4月 国立病院機構東名古屋病院 休職(大学院進学の為)  
2011年5月 特定医療法人平成会井上病院 (現、平成会病院)  
リハビリテーション科  
2011年10月 札幌医科大学附属病院 リハビリテーション部  
2013年4月 国立病院機構東名古屋病院 リハビリテーション科 復職  
2014年4月 学校法人淳心学園北海道千歳リハビリテーション学院  
(専任講師)  
2017年4月 学校法人淳心学園北海道千歳リハビリテーション大学  
(講師)  
(現在に至る)

#### [活動]

・札幌呼吸リハビリテーションネットワーク(SRCN)幹事  
・北海道内部障害リハビリテーション研究会(HIRS) 幹事  
・北海道理学療法士会 教育局 教育部 運営委員  
・日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 小児システム  
ティックレビュー班班員  
・日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 呼吸システム  
ティックレビュー班班員

#### [資格]

・専門理学療法士(内部障害)  
・3学会合同呼吸療法認定士  
・呼吸ケア指導士

古くは体位ドレナージや徒手排痰法を中心とし、理学療法と呼ばれた本邦の呼吸リハビリテーション(以下、呼吸リハ)は、その後、肺結核後遺症やCOPDなど慢性呼吸不全を対象に呼吸困難や運動耐容能の改善を目的とした運動療法を主軸にした呼吸リハに発展した。さらに急性呼吸不全、誤嚥性肺炎など対象を広げ、この四半世紀で呼吸リハは大きな変化を遂げた。

近年、排痰法やCOPDに対する酸素療法に関するネガティブなエビデンスが報告されたことや、COPDにおいて呼吸機能や運動耐容能よりも身体活動が生命予後に影響を与えることが明らかになったことから、呼吸リハには新たな変化が求められている。

一方、現在の総患者数が約26万人であるCOPDの推定患者数は約500万人と報告されており、高齢者の8人に1人以上はCOPDであると推測されている。併存症としてCOPDを有している可能性もあるため、中枢神経疾患や整形外科疾患など他の分野への呼吸リハの普及も重要な課題である。

さらに、呼吸筋サルコペニアという概念も提唱され、今後高齢者に対する呼吸リハの役割がさらに重要になることに疑う余地はない。

本シンポジウムでは、高齢者における呼吸リハを飛躍させるために、理学療法士として何ができるか考えたい。